

# 週報

2011.7～2012.6

## 国際ロータリー第2730地区 佐土原ロータリークラブ 第1196回 平成24年2月1日(水)

2011～2012年度  
ロータリーテーマ



### 本日のプログラム

1. 点鐘
2. ロータリーソング  
「我らの生業」
3. 四つのテスト
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 出席報告
7. 2月のセレモニー
8. 委員会報告
9. 会員卓話「原田 宗忠君」
10. 次週例会の案内「SAA」
11. 点鐘
12. 理事・役員会

2730地区ガバナー 長峯 基  
中部分区ガバナー補佐 林 務  
RT会長テーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

2730地区テーマ  
「善いことをしよう」

佐土原テーマ  
「クラブ会員の絆を より深めよう」

2月のテーマ  
「世界理解月間」

### 2月度の例会予定

2月1日(水)・・・「1196回」会員卓話「原田 宗忠君」  
2月のセレモニー・理事会

2月8日(水)・・・「1197回」ゲスト卓話「坂 佳代子氏」

2月15日(水)・・・「1198回」職場訪問「J A ミヤベイ」

2月22日(水)・・・「1199回」会員卓話「宮原 建樹君」

2月29日(水)・・・「1200回」夜間例会「1200回記念」

会長：荒武 義博  
副会長：村上 實  
幹事：永野 陽子  
委員：藤堂 孝一  
報務員：梶田 與之助  
計：吉野 由里子  
事務局：宮崎 町下田島  
11703-18

TEL：0985-62-7833

FAX：0985-62-7877

例会日：毎週水曜日

例会場：石崎の杜「歓鯨館」

TEL：0985-62-7757

## 第1195回の記録 会長の時間

平成24年1月25日

< 荒武 義博 会長 >

(最近感じたこと、ムカつく事を箇条書きに)

その1 (国会議員の報酬)

国会議員の給料は、国会法第35条で、「議員は、一般職の国家公務員の最高の給料額より少なくない歳費を受ける」と決められている。

つまり、最高裁判事のような特別職の公務員は別にして、最も給料の高い一般公務員と同じか、それ以上の給料(歳費)を受けとっている。具体的には、無役の議員で月額137万5000円。これにボーナスにあたる期末手当が718万円。これだけでざっと年収2400万円。普通のサラリーマンには見当もつかない金額だ。

しかし、国会議員が手にしているのはこれだけではない。これにプラスして、文書交通費という名目で、毎月100万円が追加支給されている。また、これとは別に、議員にはJR各社や航空会社の特殊乗車券(航空券)なども提供されている上に、公務出張の場合は別途実費の交通費等が支給されるのだ。さらに、その国会議員の所属する会派には、一人あたり月65万円の立法調査費なるものが支給される。ここまで合計して、国会議員一人に対して税金から支払われる額は、実に年間4400万円。さらにさらに、国会議員一人あたり、三人の公設秘書は、給料全額税金で丸抱えである。三人あわせてざっと2000万円。これを秘書に払った事にして、懐に入っていた議員もかつては少なからずいたというのだから、空いた口がふさがらない。

結局、ヒラの国会議員一人維持するために年間6400万円以上の税金が、直接費だけで必要なのだ。この額は基本的に、衆議院でも参議院でも同じ。現在衆議院議員は480人、参議院議員は247人が定数。合計727人に、これだけの額が支払われているというわけだ。6400万円かける727人イコール465億円!! この額には、国会を維持する為の事務方賃金、設備費、選挙に要する膨大な費用、さらには大臣、議長等の役職加算、役職者に提供される運転手付きの車等の費用は一切含まれていない。

そして、盗人に追銭!とまでは言わないが、これに加えて、8年前には政党助成制度なるものが創設された。元々、頻発した国会議員の汚職を防ぐために、議員が汚い金に手を出さなくてすむよう税金で政党活動を支えて上げましょう、という、なんと「お手盛」な法律で、これに支出される税金は、赤ちゃんから年金生活のお年寄りまで国民全員が一人250円、今年度分の支出だけで実に317億3100万円にもものぼる。分配は、政党所属国会議員の頭数と直近の国政選挙の得票率で決め



れ、今年度分の各政党別支給額は、読売新聞の試算によると、自民党約153億円、民主党約86億円、公明党約29億円、自由党約20億円、社民党約17億円、去年の暮れに、助成金ねらいで新党結成と陰口を叩かれた保守新党が約5億円、自由連合約3億6000万円、無所属の会約3億3000万円となっている。

ちなみに、この「無所属の会」というのは、あくまでもそういう名前の「政党(会派)」で、参議院に五人ほどいるどの会派にも属していない完全な無所属議員と共産党には、この金は分配されていない!!

●この政党助成金制度の創設で、一部の利益団体の顔色をうかがう事のみ腐心する議員がいなくなり、声無き有権者の為の政治が行われるのなら高くない負担だが、相変わらず企業団体献金が多く政治家の主要な資金源でありつづけ、汚い金に手を出して堀の中に転がり落ちる議員が後をたないというのだから、マツタク国民は浮かばれない。

先ほどの、議員個人と公設秘書に支払われる税金とこの政党助成金を合わせると、実に国会議員らの手に渡る直接費だけで800億円にもものぼる。この数字は、日本の政府税収の0.2パーセントにも及ぶのだ。民主主義のコストというには、余りに高すぎる数字ではないか。

●そもそも、日本はアメリカなどに比べて、人口あたりの国会議員数そのものが3倍近い。3倍働いてくれば、これまた文句はないのだが、数が増えれば質が低下するのは当然の成り行きだ。

頼む! 国会議員のあなた。あなたへの払いのために、我々がいくらか税金を納めているか思いをはせてくれ。普通のサラリーマンが、どのくらいの収入で子供を育てながら、日々の昼食代をひねり出しているか想像をめぐらせてくれ。

お願いだ。まず、国会に行ってくれ! たまに居眠りするくらい大目に見よう。立ち歩きも、私語も目をつぶろう。ただ、あなたの持っている国会での一票を使う時、あなたの給料を支えるために、1000円の特売の豆腐を買って、5円の消費税を払う人々の生活のことをどうか思いだしてくれ!

### その2 (沖縄返還に伴う密約文書の有無)

この裁判は、沖縄返還の際にかかる費用を日本がアメリカの代わりに支払うという密約があったとして、原告等が国に当時の外交文書を公開するよう求めていたものです。

1972年(昭和47年)の沖縄返還の際に日本とアメリカが密約を交わしたとして、元毎日新聞記者の西山太吉さんや作家の澤地久枝さんなど原告25人が、2008年に外交文書を公開するよう求めていた裁判で、2審の東京高等裁判所は、文書の開示と慰謝料の支払いを命じた1審の判決を取り消し、元記者側に逆転敗訴の判決を言い渡しました

1971年、毎日新聞の西山太吉記者(当時)が密約の存在を報じましたが、自民党政権は密約はないと嘘を言い続けました。西山記者がこのスクープで国家公務員

法違反（機密漏洩罪）で有罪とされた経緯は、憲法などの教科書にも載っている有名な話です。しかし、2000年以降、密約を証明する米公文書が発見され、当時交渉担当の外務省元アメリカ局長も密約を認めました。

日本の外交機密はいつもアメリカからわかるんですね。最近ではウィキリークスですけど。彼等の情報公開、知る権利に対する考え方の差、ひいては民主主義の成熟度の差がわかります。澤地氏ら「市民による沖縄密約調査チーム」は、公表された沖縄返還に関連する日米双方の外交文書約4500ページ以上をつぶさに検証した結果、(1)原状回復費に関する密約については、米国議会対策のため書簡ではなく交渉担当者の署名がある「議論の要約」文書が作成された(2)VOA移転費用に関する密約については、首相や複数の大臣の了承の上、交渉担当者が署名したメモが作成された？

などの過程を明らかにしました。この裁判で、外務省と財務省は、調査の結果、文書は残っていなかったと主張しましたが、1審判決は去年4月、米側公文書や吉野文六元外務省局長の法廷証言などから、密約の存在を認定。「政府にとって秘匿の必要性や重要性が高い文書で、存在していないとは認められない」と判断し、国に文書の開示と慰謝料の支払いを命じました。

9月29日言い渡された2審の判決で、東京高等裁判所の青柳馨裁判長は、沖縄返還の際に本来はアメリカが支払うべき400万ドルなどを日本が肩代わりする密約があったことをやはり認めました。その一方で「外務省と財務省では文書を隠すという強い意図が働いていて、国の調査で発見されなかったことを考えると、文書はすでに廃棄された可能性が高い」と指摘して1審の判決を取り消し、原告らの訴えをすべて退けました。

原告が負けたと報道されていますが、日米の密約があった事、密約文書もあったことを裁判所は確認した上で、外務省が密約文書を廃棄してしまったので、文書の公開は無理だと判断しただけなのです。

判決について、外務省は「これまでの政府の主張が認められたものと考えています」というコメントを出しました。もし、今回の判決の事実認定が正しく、本件機密文書がないとすれば、以前は確かにあったのですから、それは自民党政権と外務省が捨ててしまったということなのです。これこそ、国家の犯罪です。なのに、外務省の「これまでの政府の主張が認められた」という盗っ人猛々しいコメントが許せません(怒)。

薬害エイズ事件でも、菅厚生大臣(当時。彼が一番輝いていた時代)が廃棄にストップをかけて救い出さねば、後の裁判を支える資料がなくなってしまうところでした。一体、官僚というのは国民ではなくどこを向いて仕事をしているのか？

控訴審結審の日、代理人の小町谷育子弁護士は最終意見陳述で「歴史の検証を目的とした情報公開に対し、文書の不存在や廃棄という理屈が通れば、法治国家や裁判を貫いている正義の観念はなおざりにされるんですね。と述べた」私も同感です。

この国の正義はどこへ行った。又、こんなに我慢強く、辛抱する国民は、世界中探してもいませんよねー。

幹事報告

< 幹事 永野 陽子 君 >

- ※オクトン～次年度役員名刺・テーマ幕注文のご案内
- ※国際ロータリー日本事務局～半期報告書



委員会報告

○奉仕プロジェクト委員長 岩切正司君

2月15日(水)の「職場訪問」について、詳細が決まりましたのでご報告いたします。

12:00にかねしんうなぎさんへ集合、食事を済ませて「ミヤベイ」さんへ移動いたします。13:00～14:00を訪問時間と致しますので、よろしくお願致します。



○クラブ広報委員長 藤堂 孝一君

佐土原クラブ事務局の電話・FAX・インターネット環境の充実を更に高める事と、経費削減にもなりますのでNTTさんへの乗換えを行います。2月16日(木)午後より工事を行います。電話・FAX番号に変更はありませんがPCアドレスは変更になります。16日以降にお知らせ致します。



○親睦委員長 福井 輝文君

先週は都合により急遽お休みさせていただきましたが、1月セレモニー等ご迷惑お掛けいたしました。ありがとうございます御座いました。2月のセレモニーは又記念品等のご協力をお願い致します。



○会員増強委員長 太田 忍君

先日理事会にて 正岡文郁君 ご紹介の新会員候補者を承認いたしましたことをお知らせ致します。



自由討論の様子



出席報告 < 出席委員 田邊 揮一郎 君 >

会員22名 (免除1名) 欠席者数 5名 出席者数 18名  
有届け者～ 佐藤君・正岡君・村上君・大久保君 (メイク使用)  
出席率 90.4% 無断欠席数(前回)0名  
メイクアップ 1名 修正出席率 85.7%

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務局便り

☆卓上プレート・「会長」「幹事」「SAA」「会長エレクト」ハッピーBOX・女性会員用バッジ・チェーン付き名札をオクトン発注済みです。例会の雰囲気向上に繋がります様に  
☆佐藤 高元会員の全快復帰が1日でも早まりますことを心よりお待ちしております。  
☆会員卓話・委員会報告等「原稿提供」のご協力をどうぞお願い致します。

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るかマナーモードにしてください・・・

-----  
-----  
-----  
-----  
-----